

児童の未来を育む学校づくり

平成 31 年度 4 月 5 日 文京区立本郷小学校長 杉浦 芳則

I 学校経営理念『児童の未来を育む学校づくり』

本郷小学校の歴史と伝統によって培われた、校訓である「挑戦」「共感」「飛躍」を受け継ぎながら、すべての教職員の創造性と自発性、英知を集結して、未来を主体的に生きる児童の確かな成長と、保護者や地域社会からの理解と信頼を得られる学校を目指していく。

II 教育目標

人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で、社会の変化に主体的に対応しながら個性を発揮し、「教育は、未来を創る営みである」と考え、未来を切り拓く人間性豊かな児童の育成を目指す。

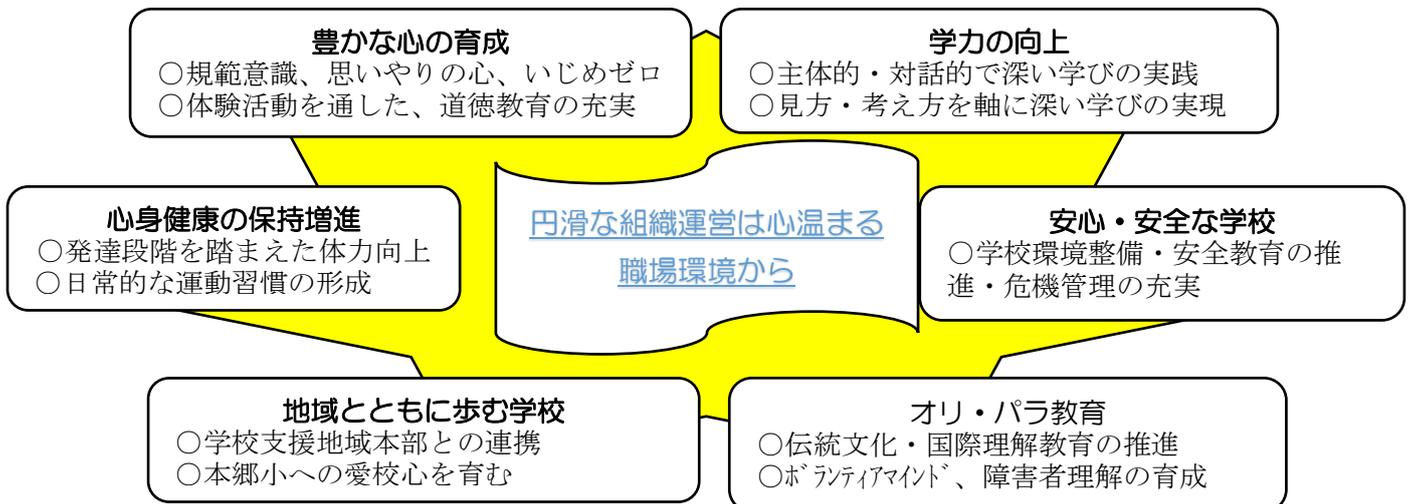
◎よく考え 進んで学ぶ子 → 自分で気づき、考え、判断し、正しく行動できること

○体をきたえ たくましい子 → 健康で、自分の最善をつくせること

○助け合う やさしい子 → 人と楽しく、協力的に、共感的にかかわれること

III 学校経営組織目標(中期計画)

『チーム本郷』 ～強固な組織構築～



IV 平成 31 年度・令和元年度 学校経営重点課題

- (1) 本郷の地に根ざす学校づくり
- (2) 安心・安全な学校
- (3) 文京区教育委員会研究協力校としての取組
- (4) オリンピック・パラリンピック教育推進

V 学校経営方針実現のための組織的な校務遂行

- (1) 本郷の地に根ざす学校づくり
 - ・地域と連携した教育活動を展開し、人との関わりの中で、健やかな心や学びを地域で生かす実践力を育む。「よく考え 進んで学ぶ子」に重点をおいた育成。
- (2) 児童に寄り添った健全育成の充実
 - ・全教員が児童に寄り添う指導を行い、児童を理解し「諭す」指導の向上を図る。
 - ・「防ぐ」→「気づく」→「伝える」→「寄り添う」を徹底し、『ちょっと様子を見る』をなくし、抱え込まずに組織的な対応力を高める。
- (3) 新学習指導要領を見据えた授業スタイルの組織的な構築
 - ・文京区教育委員会研究協力校として授業の工夫・改善、研修体制の強化と組織力の強化
- (4) オリ・パラ教育を中心に「ボランティアマインド」「障害者理解」「伝統文化」「国際理解教育」の推進
 - ・歴史や人物から学ぶ、選手や他国との交流、伝統文化理解教育や国際理解教育の推進